

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぼけっと 住吉駅前教室
公表日	令和8年 2月 20日
利用児童数	38名 (令和7年12月25日時点) 回収数: 18

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18件					引き続き、活動内容によって個室と広い療育室を使い分けていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17件	1件				行政の定める配置数以上の職員を配置しておりますが、個別療育という都合、急な職員の欠勤が出た場合には、ご不便をお掛けしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18件					来所後、お仕度をしてから遊びに行けるように、下駄箱やロッカーやおもちや棚の配置を工夫しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18件					毎朝、次亜塩素酸を使って掃除をしています。それぞれのクール終了後には、使ったおもちゃを拭き消毒しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14件	3件		1件	・子どもの特性に応じて柔軟に対応・調整していただいており、その点がとても良いと感じています。 ・発語に関するものでは無く総合的なコミュニケーションを伸ばすプログラムとしているが、そろそろ専門的な方法も検討したい。 ・先生方の専門性と温かいご対応に心より感謝しております。この一年、本当にお世話になりました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。	お子様の状況をモニタリングしながら、保護者様の望まれている支援に近づけるようプログラムを進めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18件					ホームページにて公表しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18件					引き続き、お子様のご様子と保護者様のご要望を汲んで支援計画を作成してまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17件			1件		支援計画作成の前に保護者様との面談で、ご家庭や園でのご様子をお聞きし、それぞれの場面に合った支援内容を検討しております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18件				・5と同じ意見	引き続き、支援計画に沿ってお子様の状況に合わせたステップをふんで支援してまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15件	2件		1件	・とても工夫されていますが、不得意な事、改善したい事などに重点を置いて、支援する日などがあっても良いのかなと感じます。 ・毎回、連絡帳に記載した内容を先生方が丁寧に読んでくださり、家庭での様子を踏まえて、その日の活動内容を柔軟に調整していただいていると感じます。その点がとても良いと思います。	課題のマスターや定着を測る為、通所の度繰り返し行うプログラムもありますが、お子様のその日の状態をみて、プログラムを組み替えたり、重点課題は集中して実施する等時間配分を考えてやっていきたいと思います。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5件	4件	8件	1件		園と併用されている方が多いので、保育園等との交流はあえて今までしておりませんが、ニーズがありましたら検討したいと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18件					今後も丁寧なご説明を心掛けてまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18件					引き続き、支援計画を示しながら、ひとつずつ丁寧なご説明を心掛けてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13件	3件	1件	4件		教室では毎回のフィードバックだけではなく、療育のご見学や個別相談等も行っておりますので、ご都合のいい日時をお気軽にお伝えください。また、本部SVによる「てらぼけ」研修会のご案内も「てらぼけLetter」でお知らせしたり、教室内に掲示しています。さらなる周知に力を入れていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16件	2件				毎回のフィードバックのお時間で、徹底してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14件	3件		1件		保護者様と定期的に療育の成果を確認し、支援の方向性を一緒に検討して支援計画を作成しております。また日頃から来所時や電話、メールでも対応しております。 見学時には、まとまった時間もお取りできますので、ご遠慮なくお申し付けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17件			1件		引き続き、お子様や保護者様に寄り添った支援を心掛けてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3件	3件	8件	4件		保護者会等の開催は今までやった事がなかったですが、ニーズがありましたら今後実施を検討していきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申し入について、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15件	1件		2件		スケジュール調整がつかず、ご希望の日時にすぐに対応できない事があり、ご不便をお掛けしています。迅速に対応ができるように努めます。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17件			1件		毎回の口頭でのフィードバックだけでなく、メールや「せらびーのーと」文書を利用し、コミュニケーションを取っております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15件	2件		1件		「てらぼけLetter」を毎月発行し、活動概要やお知らせを掲載しています。自己評価の結果も毎年、てらぼけのH.P.にて掲載、公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17件			1件		引き続き、個人情報の取扱いにつきましては十分に注意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16件			5件		相談室内の閲覧ファイルや「てらぼけLetter」にも訓練のご報告や、感染症対策等をご紹介します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10件	1件		7件		年に2回以上の避難訓練を行っております。実施後は「てらぼけLetter」でご報告しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13件			5件		安全計画を立て実施しております。周知をしっかりとしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14件	1件		3件		事故等が発生した際はすぐにご連絡差し上げたうえ、防犯カメラに写っている場合はその映像もご確認いただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18件					・いつも優しく教えて頂いて、家や他の教室でも出来なかった事が出来る事が増えていてとても助かっています。本人がとても通うことを楽しみにしている姿を見て私も嬉しく、安心して通わせる事が出来ます。通える日も残りわずかですが、最後の日までどうぞ宜しくお願い致します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16件	2件				・いつも楽しく通っていてとても安心して通わせる事ができます。 ・子どもはこの事業所をとても気に入っており、家庭でもこちらで覚えた手遊びなどをよくしています。 ・毎回、通所前にはとても楽しみにしており、先生方のこととても信頼しています。 ・毎回成長が見られて本当に感謝しています。本人も楽しそうで嬉しいです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16件	2件				・方針もあると思いますが、特定の担当が付くこともご検討ください。 不足点等がございましたら、遠慮なく何でもお聞かせいただけたらと思います。

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名		てらびあぽけっと住吉駅前教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・ 大部屋と個室に分かれている。 ・ 活動内容によって、大部屋と個室を使い分けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	・ お子様と職員がマンツーマンで療育ができるようにシフト調整をしている。 ・ 体調不良等で職員が急に休みになり欠員が出ても、他教室に応援を要請し欠員を補うことができる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・ 視覚情報が理解しやすいお子様には文字のカード等を作成したり工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・ 毎日次亜塩素酸で掃除している。 ・ 毎朝掃除と消毒をしている。 ・ 子ども達自身が玩具などを選びやすい環境にしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・ 既存の個室だけでなく、パーテーション等も用意して利用できるようにしている。 ・ 他の部屋を使用する際は仕切るなど環境設定をしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・ 朝礼と終礼を行っている。 ・ 新職員に対しては先輩と一緒に振り返りをしている。年末にオーナーと面談がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・ アンケートの内容を元に業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・ 終礼などでも設けている。改善が必要なものに関しては、すぐに動いていると感じる。 ・ 終礼時やその他の場面でも随時職員の意見を聞いている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		・ すぐに業務改善に取り掛かっている。 ・ 開所後 2 回目の第三者評価を今年度受審した。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・ 毎月本部で行っている研修内容を確認し、それぞれが受けたい研修の希望を取るようになっている。 ・ 強度行動障害支援者養成研修や児童発達支援管理責任者研修を都に申込み受講している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・ 小集団等でのアセスメントを児に合わせて適切に行い、保護者からのニーズをよく聞き取り支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・ 立案したものに皆が意見を出し合い、確認できるようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・ セラピーの課題の中に取り入れ支援している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・ てらびあぽけっと本部作成のアセスメントシートを使ってお子様の状況を把握している。 ・ お子様が外部で発達検査を受けた際には結果を共有させていただき、支援に反映させている。 ・ 常にお子様の行動を注視、適切な支援が行われているか職員で確認し合っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・ 担当間や機能訓練士などが活動に参加して立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・ 随時更新できるようデータを記録している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・ ルーティンで実施する小集団活動と個別支援があり、その他にもニーズや状況により小集団活動プログラムを実施しているお子様もいる。	

関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝礼を行って確認している。またホワイトボードなどで役割分担について確認できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・必ず終礼をし、ヒヤリハットや保護者様からお聞きしたこと、受け持った支援内容について共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・個人ファイルに必ずデータを残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・2か月ごとにモニタリングを行い進捗を確認している。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	・電話やメールでのモニタリングや、支援計画書の共有を行っている。	記録の回覧をして職員への周知を徹底できるようにする。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・さるえこどもクリニックを協力医療機関としている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・通所しているお子様に通っている幼稚園や保育園の先生と電話や書面で情報共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	・就学支援シートを作成し、保護者様を通じお渡ししている。	・就学支援シートを特定の職員だけではなく、教室の職員全員が書けるようにする。 ・今後、小学校訪問も検討したい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
保護者への説明等	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		・必要に応じて電話等で相談している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	・特に機会は設けていない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・お迎え時に必ず支援内容や児の様子を伝えている。 ・せらびーのーを通して情報共有をしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		・お迎え時や面談をした際にご家庭でできることの提案をしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・ご契約時にご説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・保護者様にはお聞き取りシートにお子様の成長の様子、ご要望や成長ビジョンを記載いただき、それを元に面談を設け計画書を作成している。 ・支援計画の初回作成時も継続時も面談を行い保護者のご意見やご要望をお聞きしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・支援内容のご説明をし、保護者様の同意を得てから新しい支援計画をスタートさせている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・毎回お迎え時に時間を設けて、その日のご様子や療育内容をお伝えし、ご家庭でのご様子もお聞きしている。 ・支援計画の見直しの際にご家庭でのご様子やお悩み等をお聞きしている。別途面談も随時行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	・交流の機会は設けていない。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・相談や要望をお受けしたら職員間で共有し、迅速な対応に努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・毎月「てらぼけLetter」というお便りを発行している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報には鍵付きの書庫に入れて保管している。 ・同時間ご利用者様には、個人情報が開示されないよう、話の仕方にも配慮している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・視覚的な情報を取り入れやすいお子様には絵カードや平仮名カードを使用して要求を伝え合う等している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	・地域住民を招待するような行事を行っていない。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・各マニュアルを策定し、保護者様用閲覧ファイルにも入れている。嘔吐処理はじめ各種の研修、訓練も実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・BCPを策定し、年に2回避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・服用や持病等について常に情報を把握し、支援するときに留意している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・食事の提供はありません。 ・実際にアレルギー症状が出て対応したことはない。 ・こむぎ粘土は使用せず、お米粘土を使っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・研修や訓練を実施し、消毒液を毎日作り直しすぐに取り出せる所に設置するなどしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・面談時だけでなく、受入時や支援後のフィードバック中にも周知できるようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・終礼と回覧で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・虐待防止の研修を行い、チェックも行っている。 ・常に職員間でコミュニケーションをとっており、不適切な行動があれば指摘し合えるようにしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・支援計画のご説明の時に必ずお伝えしている。	

事業所における自己評価総括表				
公表				
○事業所名	てらびあぽけっと 住吉駅前教室			
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 3日 ～ 令和7年 12月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 3日 ～ 令和7年 12月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育と小集団の活動を両方行っている。	個別課題で習得したことをすぐに小集団で 般化させて課題定着を促している。 個別ではそれぞれのお子様に合ったプロ グラムをマンツーマンでじっくり行い、小集団 では社会的スキルを学んだり園等の集団生活 の練習を少人数で行うことができる。	お友達同士が関われる時間を積極的に作 り、般化の機会を増やして、日常生活や集団 生活につなげられるようにする。
2	色々な専門職の職員がいるため、専門性 の高い療育ができる。	日常の動作については作業療法士を中心 に、トイレトレーニングについては保育士を中 心に等、それぞれの専門性を活かした支援 ができるようにしている。	言語聴覚士の在籍も切望しており、求人活 動を続けていく。
3	保護者様からお聞きした情報やご要望は 全職員が把握しお子様を常に観察して、ご様 子についても教室内で共有し職員一丸となっ て療育を行っている。	毎回のフィードバックや面談時に保護者様 のご要望をお聞きし、柔軟に対応すること を心掛けている。 毎日終礼時に情報の共有を行っており、日 報に記録している。	保護者様にご見学していただく機会を増や し、ご家庭と教室と連携できるようにする。
	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士やお子様同士の療育時間外で の交流の場が少ない。	保護者様とお子様交流できる行事等 を行っていない。	交流会等、ご要望があれば検討する。 地域のイベントのお知らせはポスター掲示や チラシの配布等で随時行っていく。
2	他事業所や就学先の情報が少なく、保護者 様から他の療育や放課後等ディサービスに ついて質問された時にすぐにお返事するこ とができない。	それぞれの事業所のホームページ等で情 報を得ているが、実際に見学に行ったり他事 業所の方々と直接お話をすることが少ない。	支援センター主催の研修会や他事業所 の方々と接する機会があれば積極的に参加 し、情報収集をする。
3	通所しているお子様の保育園や幼稚園と 電話や書面で連絡を取ることはあるが、直接 行くことがほぼできていない。	日々の業務に手が取られ、なかなか保育所 等に訪問する時間が確保できない。	仕事の効率化を図り、時間を捻出する。 園の先生とお電話でのモニタリングを行っ た際に訪問してもよいからお伺いして訪問につ なげる。